

2025 年 7 月 あすならホーム桜井 運営推進会議 議事録（小規模多機能型居宅介護）

開催日時: 2025 年 7 月 18 日（金） 10:20~10:30

会議メンバー（参加者）：

- 利用者・家族：1 名
- 地域代表(住民)：1 名
- 市・包括職員：1 名
- 職員：1 名

1. 施設の状況

(1) サービス・入居・利用状況（7 月現在）

2025年度6月決算(業種別 介護保険登録・利用者数)

1. あすなら安心ケアシステム 登録人数

	ケアプラン				定期巡回・随時対応							
	実績	前年	差	前年比%	実績	前年	差	前年比%				
あすならホーム桜井	18	12	6	150.0	-	3	-3	-				

2. 小規模多機能型居宅介護

(単位:人)

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	26	31	-5	83.9	1	10	7	5	2	1	2.0	-

3. 看護小規模多機能型居宅介護

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	24	20	4	120.0		4	3	8	6	3	3.0	-

4. グループホーム

(単位:人)

	実績	前年	差	前年比%	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護平均	区分変更
あすならホーム桜井	18	19	-1	94.7	-	2	5	3	4	4	3.2	-
あすならホーム桜井(B)	18	19	-1	94.7	-	6	5	3	1	3	2.4	-

- 小規模多機能: **登録 28 名**です。入居やご逝去で登録人数が下がっていましたが、7 月段階で現在 28 名まで戻りました。4 月から 5 月にかけては 22~23 名程度まで一度登録が下がったものの、病院や地域からの相談により回復し、目標として 29 名まで戻ってきた状態です。

(3) 利用者の様子（2025 年 3 月~7 月）

- 全体的な傾向:
 - 5 月: 入院や発熱など体調を崩す利用者が出ていました。利用者の生活を支援するため、在宅生活の継続支援について検討を行いました。
 - 6 月: 夜間の介護が必要な利用者さんがいらっしゃったため、どのようなサポートができるか検討していました。利用者さんの状態に合わせて、柔軟にサービス提供を行うことを意識していました。
 - 7 月(15 日まで): 新規の利用者さんへの介護サービスを開始することになり、関係機関と連携を取りながら準備を進めています。短期入所（短期間の宿泊）を行っている利用者さんの状態悪化を防ぐため、介護方法の見直しなども行っています。
- 具体的な内容:
 - 利用者の体調や希望を把握するため、ご家族との密なコミュニケーションを図り、サービス内容の調整を行っています。
 - 在宅復帰支援にも注力しており、退院後の ADL 低下が少ない利用者には、在宅復帰に向けた支援を行っています。
 - 家族が体調不良の際の宿泊対応や、利用者が腹痛や下痢の際に一時的に宿泊してもらうなど、柔軟なサポートを提供し、家族の負担軽減を図っています。

2. 取り組み

(1) 施設内外での取り組み・工夫

- おたよりは別紙参照.
- Instagram を活用した広報活動を継続しており、職員の積極的な投稿によりフォロワーも約 700 名に増加しています.投稿予約機能なども活用し、施設の雰囲気や活動内容を発信しています.
- 「ほっとかない。断らない。すぐ動く。」を実践し、登録に繋がっています.
- 地域貢献活動としてサロンスペースで月 6 回ランチ会を実施しており（5 と 0 の付く日）、平均 24 名、0 の付く日も 10 名ほどの利用があります.
- 地域のフラワーショップによる移動販売も月 2 回実施されており、利用者や職員が花を購入しています.

(2) 感染症予防

- 厚生労働省の通達により、高齢者施設での感染対策を継続して実施しています.
 - 衛生管理及び健康管理の徹底.
 - 換気、3 密の防止.
 - 感染に関する報・連・相を徹底（コロナウイルス対策、インフルエンザ対策、ノロウイルス対策）.
 - 備品確認、対応訓練も実施しています.
- 新型コロナウイルスは依然として流行しており、事務長や一部職員の家族にも感染者が出ていますが、利用者への広がりには確認されていません.主な感染経路は病院関係と考えられています.
- 現在、コロナウイルスに対する特效薬はありませんが、薬での対応は可能です.感染力は依然として強く、発熱症状が出る 2 日程度前から感染力を持つ傾向があり、感染が引きにくい特徴があります.
- 特に夏場の感染対策（防護服着用など）は暑さのため困難であり、熱中症のリスクもあるため、手洗いや消毒を徹底しつつ、過度な予防ではない一定の予防を心がけています.
- 施設ではエアコンを常時稼働させ、室温は 27～28 度程度に設定し、換気も常に行うことで、一定の快適な環境を維持しています.
- 熱中症・脱水症への注意喚起を徹底しており、職員にはウォーターサーバーの利用や水筒持参を奨励するなど、水分補給の重要性を促しています.高齢者はクーラーを嫌がる傾向もあるため、個別の配慮も必要です.

(3) 行事、その他

- 2025 年春のあすなら学習会は 6 月 26 日（木）に開催されました.
- 理事長が交代しました。東浦秀己氏が新理事長に就任しました.
- 11 月に地域合同の防災訓練を計画しています。メイン会場はアルボールの駐車場で、複数の町内会が参加し、各町内会長が点呼を行います。訓練後には、市役所前のシャクトル公園でイベントが開催され、今年は簡易ベッド作成ではなく、車椅子での実体験訓練を実施します。これは、災害時に実際の介助の困難さを理解することを目的としています.

(4) 事業

- 「ほっとかない。断らない。すぐ動く。」の実践で登録へ繋がっています.
- 地域貢献活動としてサロンスペースで月 6 回ランチ会を実施（5 と 0 の付く日）、平均 24 名ほどの利用があり、0 のつく日も 10 名程の利用.
- 地域のフラワーショップが移動販売月 2 回実施してくれています.
- 米の安定供給に向けた契約を地域で行い、確保できています.

(5) 広報活動

- ・ 相談を受けた利用者、家族様への後追いは継続し利用者増に向けての取り組みを継続しています。
- ・ 地域に根差した運営を進めていきたいと考えており、困っている方が居られれば紹介をお願いしています。

(6) 事故（6.7 月）

- ・ その他事故: 4 月から 7 月にかけて、転倒（前方、側方、後方）、ずり落ち、転落・落下、配薬ミスなどの報告があります。
- ・ 法人の考え方として、前方への転倒は人の動きがある限り避けられない部分とし、回復や通院で対応できることを目指しています。特に注力しているのは、**大腿骨骨折に繋がりがやすい側方と後方への転倒防止**です。上半身の筋力強化や、崩れ落ちるような倒れ方を訓練するお辞儀体操などを取り入れています。
- ・ 配薬ミスについては、マニュアルの徹底と繰り返し是正を行っています。

3. 身体拘束等の適正化について

- ・ 年間計画に基づき、虐待防止・身体拘束防止委員会等を開催しています。
- ・ 全体研修としても防止に関する学習を行い、毎月の入居者の行動を制限するような事例の有無を報告しています。

4. 本日出席の家族・地域の方との意見交換記録

本日は、介護、災害対策、社会情勢に関して、活発な意見交換が行われました。

テーマ 1：災害対策の強化について

- ・ **参加者の声：**
 - 過去の水害経験から、地域全体での対策の必要性を痛感している。
 - 避難経路の確保、感染症対策、要支援者の把握など、課題は山積している。
 - 個人情報保護の壁があり、災害時の情報共有が難しい。
 - 水不足による消火活動への影響も懸念される。
- ・ **意見交換：**
 - 災害時の情報共有については、プライバシーに配慮しつつ、必要最低限の情報を共有できる仕組み作りが必要。
 - 地域住民が参加しやすい防災訓練の実施が重要。特に、高齢者や障がい者の介助方法を体験できる訓練を定期的に行うべき。
 - 水不足対策として、雨水利用や節水意識の啓発も検討すべき。
- ・ **今後の検討課題：**
 - 災害時の情報共有に関する法的な制約を整理し、関係機関との連携を強化する。
 - 地域住民向けの防災訓練の内容を充実させ、参加率向上を目指す。
 - 水不足対策に関する情報提供と、具体的な対策の検討を行う。

テーマ 2：介護サービスの現状と課題について

- ・ **参加者の声：**
 - 高齢者が夏の暑さに慣れていないため、体調管理が難しい。
 - 介護現場の人手不足が深刻化している。
 - 地域住民が介護現場を体験する機会が少ない。

- 介護・医療業界全体が将来的に厳しくなるのではないかと不安がある。

- **意見交換：**

- 高齢者の体調管理については、室温だけでなく、水分補給や食事にも配慮する必要がある。
- 介護人材の確保に向けて、給与や労働環境の改善だけでなく、介護の魅力を発信する取り組みも重要。
- 地域住民向けの介護体験イベントを定期的に開催し、介護への理解を深める。
- 介護保険制度の改正など、今後の社会情勢の変化に対応できるよう、情報収集を密に行う。

- **今後の検討課題：**

- 高齢者の体調管理に関する情報提供を強化する。
- 介護人材の確保に向けた具体的な施策を検討する。
- 地域住民向けの介護体験イベントの企画・実施を行う。
- 介護保険制度の動向を注視し、必要に応じて対応策を検討する。

テーマ 3：地域防災活動への参加促進について

- **参加者の声：**

- 地域防災活動への参加者は高齢者が中心で、若い世代の参加が少ない。
- 若い世代は、仕事や子育てで忙しく、地域活動に参加する時間がない。
- 地域防災活動の意義や重要性が十分に理解されていない。

- **意見交換：**

- 若い世代が参加しやすいように、イベントの内容や時間帯を工夫する必要がある。
- 子供向けのイベントや、美味しい食べ物を提供するなど、魅力的な企画を検討する。
- SNS や広報誌などを活用し、地域防災活動の情報を積極的に発信する。
- 町内会だけでなく、企業や学校など、様々な団体との連携を強化する。

- **今後の検討課題：**

- 若い世代のニーズを把握するためのアンケート調査を行う。
- 地域防災活動の情報を発信する媒体を充実させる。
- 企業や学校などとの連携に向けた協議を行う。

まとめ：

本日の意見交換を通して、災害対策、介護サービス、地域防災活動など、様々な課題が明らかになりました。今後、これらの課題解決に向けて、地域住民の皆様と連携しながら、具体的な対策を検討・実施していくことが重要であると認識いたしました。引き続き、皆様からのご意見をお待ちしております。

5. 次回の予定

- 次回会議日程: 9月19日（金）10:00～11:00 場所: あすならホーム桜井 サロン.
- 2025年度計画: 11月21日、2026年1月16日、3月20日.

2025 年 5 月 あすならホーム桜井 運営推進会議 議事録（小規模多機能型居宅介護）

開催日時: 2025 年 5 月 16 日（金） 10:20~10:30

会議メンバー（参加者）

利用者・家族：1 名 地域代表(住民)：1 名

市・包括職員：1 名 職員：5 名

1. 施設の状況

(1) サービス・入居・利用状況（5 月現在）

サービス種別	実績	前年	前年 差	前年 比%	要支 援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	要介護平 均	区分変 更
小規模多機能型居宅 介護	24	29	-2	93.1	1	8	7	6	4	1	2.3	

- 小規模多機能:登録 24 名。入居やご逝去で登録人数が下がっています。5 月段階で現在 24 名。広報活動を継続し適時新規紹介を受けています。

(3) 利用者の様子(2025 年 3 月~5 月)

- 全体的な傾向:
 - 利用者の状態の多様性: 発熱、転倒、皮膚剥離、自宅や家族の事を心配される思いが強い方など、利用者の状態は多岐にわたり、個別のご様子に合わせた柔軟な対応が求められる。
 - ご家族との連携: 利用者の状態や希望を把握するため、ご家族とのコミュニケーションを密に行い、サービス内容の調整を行っている。
 - 在宅復帰支援: 退院後の A D L の低下が少ない利用者には、在宅復帰に向けて支援を行っている。
- 具体的な内容:
 - 発熱や皮膚トラブルのある利用者への適切なケアの提供。
 - ご家族との連携によるサービス内容の調整と、利用者の希望尊重。
 - 新規利用者の受け入れとサービスの提供開始に向けた準備。

4. 取り組み

(1) 施設内外での取り組み・工夫

- おたより別紙参照
- Instagram

(2) 感染症予防

- 厚労省の通達で高齢者施設での感染対策を引き続き実施するよう指示あり。
 - 衛生管理及び健康管理の徹底
 - 換気、3 密の防止
 - 感染に関する報・連・相
 - コロナウイルス対策、インフルエンザ対策、ノロウイルス対策
 - 衛生管理及び健康管理の徹底
 - 備品確認
 - 対応訓練

(3) 行事、その他

- 25 年春のあすなら学習会を開催します。 6 月 26 日(木) 10:30-12:00

5. 本日出席して頂いている家族さん・地域の方からの意見（要約）

- **入院による影響と課題:** 入院によって利用者の状態が変化し、施設でのケアとの連続性に課題が生じる。特に長期入院や、コロナ禍での面会制限などは、利用者や家族、施設側の負担を増大させる。
- **病院と施設の間隔的なサービスの必要性:** 治療を終えた後、すぐに自宅に戻ることが難しい利用者のために、リハビリなどを提供できる間隔的なサービス（小規模施設など）の必要性が指摘されている。
- **地域との連携:** 利用者が地域活動に参加できるよう、地域との連携を強化することの重要性が述べられている。地域での顔見知りを作ること、緊急時のサポート体制を構築できる可能性も示唆されている。
- **個々のニーズへの対応:** 利用者の性格や生活習慣を考慮し、画一的なケアではなく、個別のニーズに合わせた支援を提供することの重要性が強調されている。
- **介護サービスの利用に対する考え方:** 介護サービスを最後まで利用しないことが理想という意見がある一方で、入口を軽くし、必要に応じて利用できるような柔軟な体制が求められている。

6. 次回の予定

- 次回会議日程: 7月18日(金) 10:00~11:00 場所: あすならホーム桜井 サロン
- 2025年度計画
 - 7月18日
 - 9月19日
 - 11月21日
 - 2026年1月16日
 - 3月20日